

政令番号311 マンガン及びその化合物

各都道府県での届出事業所以外からの「排出源別排出量/使用目的別使用量」（平成19年度）

(E+nは×10<sup>n</sup>、例えばE+3は×1000の意味です。)

都道府県コード	都道府県名	排出量/使用量(kg/年)							合計
		裾切以下事業所	自動車等移動体	塗料	洗剤・化粧品等	農薬	農業用以外殺虫剤	その他	
1	北海道	8.1E+2						5.4E+1	861.8
2	青森県	2.7E+2						6.2E+0	274.2
3	岩手県	3.7E+2						6.2E+0	372.4
4	宮城県	4.5E+2						3.2E+1	486.2
5	秋田県	2.9E+2						1.0E+1	304.2
6	山形県	5.1E+2						1.3E+1	523.2
7	福島県	8.1E+2						2.0E+1	827.9
8	茨城県	1.6E+3						3.5E+1	1,655.8
9	栃木県	1.1E+3						3.0E+1	1,144.7
10	群馬県	1.5E+3						3.1E+1	1,483.1
11	埼玉県	3.1E+3						1.1E+2	3,162.5
12	千葉県	1.0E+3						3.8E+1	1,064.0
13	東京都	3.4E+3						5.7E+2	3,953.8
14	神奈川県	2.0E+3						1.0E+2	2,104.6
15	新潟県	1.3E+3						5.4E+1	1,387.1
16	富山県	5.2E+2						2.4E+1	548.7
17	石川県	7.3E+2						1.9E+1	751.6
18	福井県	4.1E+2						2.2E+1	428.1
19	山梨県	5.5E+2						8.7E+0	559.9
20	長野県	1.1E+3						4.0E+1	1,147.7
21	岐阜県	2.8E+3						6.4E+1	2,844.3
22	静岡県	2.4E+3						6.9E+1	2,465.3
23	愛知県	5.4E+3						1.8E+2	5,585.1
24	三重県	1.1E+3						1.5E+1	1,154.5
25	滋賀県	6.8E+2						2.5E+1	710.3
26	京都府	8.3E+2						6.5E+1	894.7
27	大阪府	4.5E+3						3.3E+2	4,870.7
28	兵庫県	1.9E+3						1.1E+2	1,992.3
29	奈良県	3.4E+2						2.4E+0	344.5
30	和歌山県	3.4E+2						4.8E+0	349.5
31	鳥取県	1.4E+2						1.1E+1	152.6
32	島根県	2.8E+2						4.8E+0	287.0
33	岡山県	8.8E+2						2.1E+1	903.1
34	広島県	1.1E+3						4.5E+1	1,179.6
35	山口県	4.4E+2						1.2E+1	447.2
36	徳島県	2.6E+2						2.7E+0	262.2
37	香川県	5.9E+2						1.0E+1	596.0
38	愛媛県	5.5E+2						9.8E+0	557.3
39	高知県	2.3E+2						1.9E+1	251.6
40	福岡県	1.0E+3						4.2E+1	1,050.7
41	佐賀県	5.7E+2						9.4E+0	582.7
42	長崎県	7.0E+2						1.7E+1	715.1
43	熊本県	3.9E+2						1.4E+1	409.3
44	大分県	3.6E+2						4.8E+0	367.2
45	宮崎県	2.4E+2						5.6E+0	249.5
46	鹿児島県	4.0E+2						8.5E+0	406.4
47	沖縄県	3.4E+2						5.9E+0	341.2
	全国	5.1E+4						3.5E+3	54,159.3

注)「その他」のうち「製品使用に伴う低含有率物質」の排出量は、都道府県別の推計ができないため、都道府県合計と全国合計は一致しない。